

2026 年 7 月 2 日

報道関係者
地域広報関係者 各位

国際日本文化研究センター

第 13 回 日文研－京都アカデミックブリッジ開催のお知らせ

国際日本文化研究センター（日文研）は、次のとおり、第 13 回 日文研－京都アカデミックブリッジを開催いたしますので、周知のご協力をよろしくお願いいたします。

発表題目 **海外研究者が読み解く 魅惑の日本語**

開催日時 **2026 年 8 月 8 日（土）13 時 00 分～15 時 00 分（開場：12 時 30 分）**

開催会場 **キャンパスプラザ京都 5 階 第 1 講義室**

京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町 939

（京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR 各線「京都駅」下車。徒歩 5 分）

参加料 **無料**

主催 **国際日本文化研究センター、京都新聞**

登壇者

パネリスト：ニーナ・ファリゾヴァ（日文研 JF-日文研フェロー：外来研究員）

孫建軍（日文研 外国人研究員）

李有姫（日文研 外国人研究員）

進行：瀧井一博（日文研・教授）



ニーナ・ファリゾヴァ



孫建軍



李有姫



瀧井一博



内 容

日本語は、面白い！ 本セミナーでは、日本語を研究している海外の研究者が、古代・近代・現代という異なる時代を舞台に、「言葉の歴史」をたどります。万葉集における文学の誕生、明治時代の新語をめぐるドラマ、そして AI による新たな学習の可能性。日本語の過去・現在・未来を見つめながら、言葉を研究する面白さと奥深さをともに考えます。詳しくは、日文研ウェブサイトをご覧ください。

URL：https://www.nichibun.ac.jp/ja/events/academic_bridge/2026/08/08/（日文研ウェブサイトに移動します）

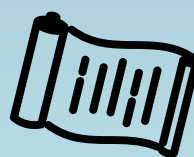
※ 取材を希望される場合は、京都新聞 COM「日文研－京都アカデミックブリッジ」係までご連絡をお願いいたします。TEL: 075-255-9757 E-mail: keikaku@mb.kyoto-np.co.jp

NICHIBUNKEN KYOTO ACADEMIC BRIDGE

第13回

日文研 京都

アカデミック
ブリッジ



—海外研究者が読み解く—

魅惑の日本語

パネリスト：ニーナ・ファリゾヴァ（国際日本文化研究センター JF-日文研フェロー）

パネリスト：孫 建軍（国際日本文化研究センター 外国人研究員）

パネリスト：李 有姫（国際日本文化研究センター 外国人研究員）

進行：瀧井 一博（国際日本文化研究センター 教授）

2026.8.8（土） 13:00～15:00（開場12:30）

キャンパスプラザ京都 5階 第1講義室（京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939）

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター、京都新聞

要申込

入場無料

定員250名
（抽選による）

「日文研ー京都アカデミックブリッジ」とは

国際日本文化研究センター(日文研)が京都新聞社と連携し、これまでの研究の蓄積と最新の成果を地域の皆様に発信することを主な目的とする催しです。2020年度から京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

このイベントの運営には、皆様からの寄附金が使われています。

THEME

ー海外研究者が読み解くー 魅惑の日本語

日本語は、面白い! 本セミナーでは、日本語を研究している海外の研究者が、古代・近代・現代という異なる時代を舞台に、「言葉の歴史」をたどります。万葉集における文学の誕生、明治時代の新語をめぐるドラマ、そしてAIによる新たな学習の可能性。日本語の過去・現在・未来を見つめながら、言葉を研究する面白さと奥深さをともに考えます。

パネリスト: ニーナ・ファリゾヴァ

(Nina FARIZOVA)

日文研 JF-日文研フェロー: 外来研究員

2010年にモスクワ国立大学で修士号を、2023年に米国のイェール大学で博士号を取得。ロシアと米国の大学で12年間、日本語と日本文化を教えてきた経験を持つ。文学理論と映画・メディア理論を中心に研究を行っている。日文研では『万葉集』を文学理論・哲学の立場から読むプロジェクトに取り組んでいる。

パネリスト: 孫 建軍 (そん けんぐん)

日文研 外国人研究員

2003年国際基督教大学 比較文化研究科博士課程修了、博士。北京大学副教授/講師、早稲田大学客員准教授を経て、2026年1月より現職。専門分野は日中近代語彙交流史。主要業績として、『近代日本語の起源 幕末明治初期につくられた新漢語』(単著、2015)、『日本発見欧州』(訳書、原著ドナルド・キーン、2018)、『唐通事未刊訳本『和解万国公法』における漢語訳語の考察』(論文、2025)などがある。

パネリスト: 李 有姫 (い ゆひ)

日文研 外国人研究員

2017年大阪大学言語文化研究科博士課程修了、博士(日本語・日本文化)。知識経済部大徳特区本部日本専門委員、大田大学講師、同大学研究教授等を経て、2026年1月より現職。専門分野は言語工学・文化。主要業績として、『日本語能力試験 N2文法』(単著、2024)、『日本語能力試験 N3文法』(単著、2024)、『戦時アニメーションに見る戦争の様相とイデオロギー的インプリケーションー決戦と肉弾文化現象を中心にー』(論文、2024)などがある。

進行: 瀧井 一博 (たきい かずひろ)

日文研 教授

京都大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学、博士。京都大学人文科学研究所助手、神戸商科大学助教授、日文研准教授等を経て、2013年7月より現職。専門分野は国制史、比較法史。主要著作に『知識で国家を拓く: 近代日本の国制知ネットワーク』(2026)、『史(フミ)としての法と政治ー書を紐解き、人を考え、時代を読み解く』(2024)、『増補 文明史のなかの明治憲法ーこの国のかたちと西洋体験』(2023)などがある。

参加申し込み方法

締切: 2026年7月24日(金) (必着)

参加ご希望の方は、①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス

(複数名参加希望の場合は全員分の①~⑥)を明記のうえ、

応募フォームまたは、はがきでお申し込みください。

応募多数の場合は、抽選のうえ当選の方に聴講券を送付いたします。



【応募フォーム】

〈応募フォーム〉 https://kyoto-np.jp/_I4QnEnY

〈はがき〉〒604-8567 (住所不要) 京都新聞 COM 「日文研ー京都アカデミックブリッジ」 係

【会場】

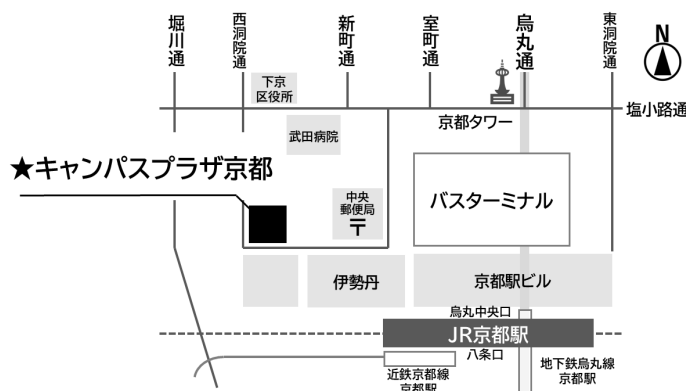
キャンパスプラザ京都 5階第1講義室

【アクセス】

京都市営地下鉄烏丸線、近鉄京都線、JR各線「京都駅」下車 徒歩5分

【お問い合わせ】

京都新聞 COM 「日文研ー京都アカデミックブリッジ」 係
Tel 075-255-9757 (平日 10~17時)



※応募者の個人情報は、京都新聞COMが管理し、本事業の運営と日文研関連事業等のご案内に使用させていただく場合があります。

※本事業の取材を希望される方は、右記のアドレスにご連絡願います: keikaku@mb.kyoto-np.co.jp